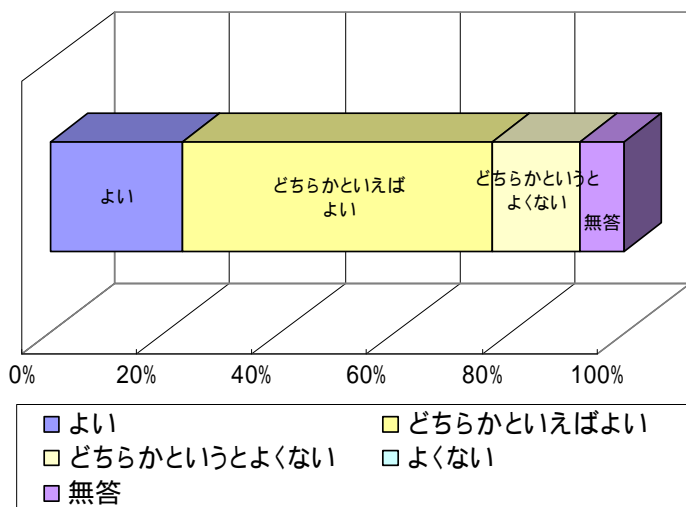


安全な登下校を

～ 見守り隊・おさんぽ隊の方々のアンケートから ～

厳冬期、登下校の安全が心配される時期です。見守り隊・おさんぽ隊の皆さんには、寒い中、安全指導にご協力をいただいています。昨年の12月、普段の登下校の様子について、アンケートにご協力いただきましたので、その結果をお知らせします。これからの安全な登下校に役立てていきましょう。

Q1 あいさつができていますか



【いただいたご意見】

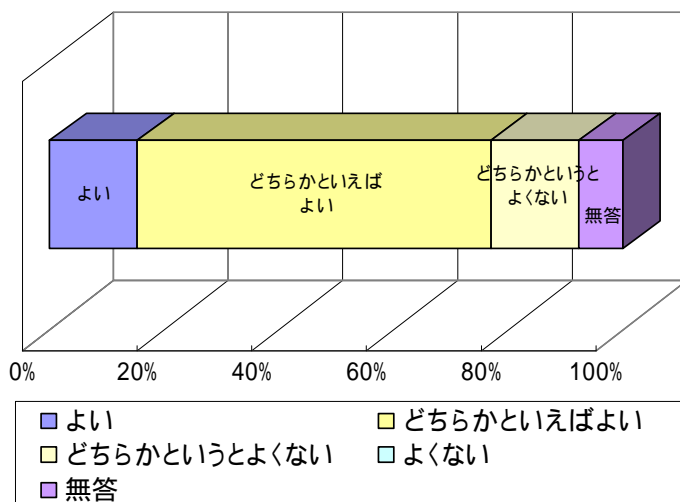
あいさつのできる子は、いつも大きな声で言ってくれるのでうれしい。元気に声がけすると、答えてくれ、とても元気をもらいます。朝のあいさつはできていると思いますが、下校時はまだまだだと思います。こちらからあいさつをしても、あいさつが返ってこない。あいさつが少なく、さみしく感じる。

あいさつは、個人差が大きいようです。子どもたちには、あいさつすること、されることの気持ちのよさを経験できるようにし、屋代町に声が響くようにしたいものです。

【いただいたご意見】

登校班で、1列で並んでいない。集団登校に間に合わない子がいる。下校時は帰宅時間の制限もなく、気持ちも開放され、友達と楽しく遊びながら帰っている。できるだけ早く帰宅を。自転車で、細い路地から見通しの悪い交差点へ、一旦止まらないで飛び出す。自転車に乗車中、友達同士で縦列走行している。

Q2 「安全」に気をつけているか



下校時の方が気持ちの緩みがあり、危険が多いようです。注意が散漫になれば、事故に遭う可能性が高くなります。常に「自分の命は自分で守る」ことに心がけましょう。

【いただいたご意見】

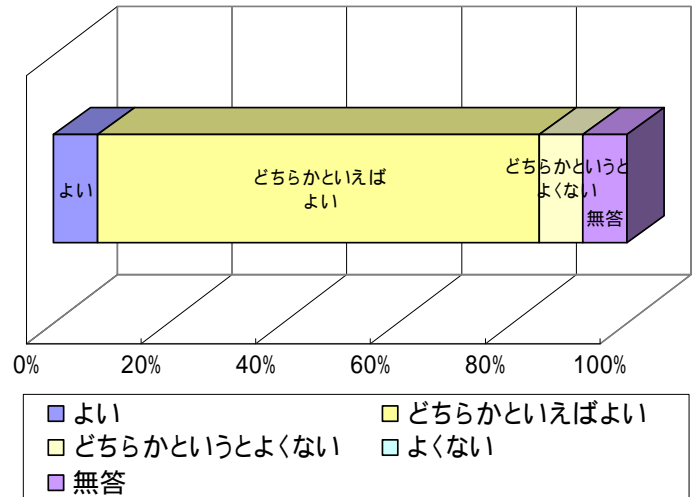
車が動いているのに手で触る、車が走っていても真ん中を歩いている、横によけようとしなない。

ふざけて急に走ったり、路肩に乗ったりしている。

歩道から車道へ入ったり出たり、ふざけて帰る子が多い。車が急停止することもある。

横断歩道で確認と手を挙げて横断を。

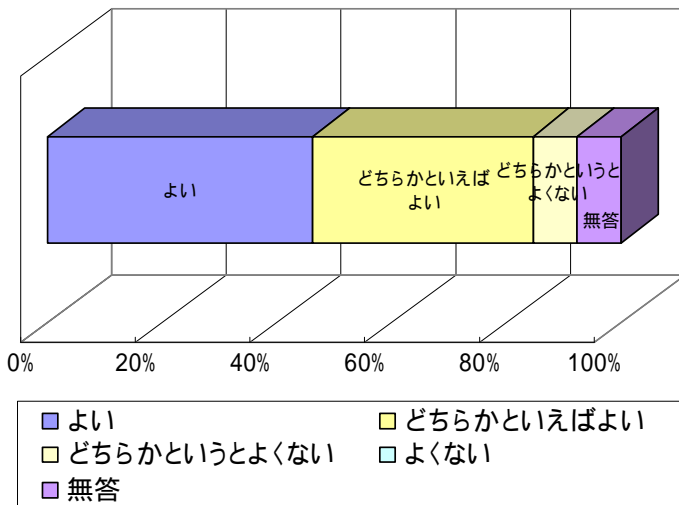
Q3 道の歩き方はよいか



冬期間は、車も滑りやすく、一層の注意が必要になります。学校では、「まわりに注意を配り、絶対に飛び出さない」「帽子、手袋を忘れず、両手を空けておく」「余裕をもって登校する」「帰宅してから、行き先を告げて遊びに行く（暗くなる前には帰宅）」「雪道では自転車に乗らない」等を指導しています。ご家庭でも、具体的に指導をお願いします。

Q4 素直に注意を聞き入れるか

最も肯定率の高い項目となったものが、素直さでした。これからも大切にしていきたいものです。自分たちの見守ってくださる方々に感謝の気持ちを持ち、自分を心配してくださる方々の声に耳を傾けることで、自分を高めていってほしいと思います。



元気に声がけすると、答えてくれ、とても元気をもらいます。集団登校を今、していますが、大きい子を先頭に一列になり、気遣いをしながら登校するのは、大変よいことだと思います。

右のご意見をお読みいただけるとわかるように、安全ボランティアの方々は、本当に温かなまなざしで子どもたちの登下校の様子を見守ってくださっています。地域の子どもたちを地域で守り、育てていただいていることに感謝します。これからもますますご健康で、学校教育へのご支援を続けていただくことを願っております。

安全ボランティア（見守り隊・おさんぽ隊）には、いつでも加入できます。

1支部：12人 2支部：15人 3支部：10人 4支部：6人 5支部：13人 6支部：4人

特に、人数が少ない支部はご加入をお願いします。連絡先：屋代小教頭（272 - 0037）